



阿蘇医療センター

〒869-2225 阿蘇市黒川 1266

☎ 34-0311 / ☎ 34-2273

地域医療!

阿蘇医療センター通信

Aso Medical Center

#55

外来診療体制をお知らせします

■当院は、予約診療(原則)です。来院前の電話予約をお勧めします。

令和2年4月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	湯本信也・井上大暉	下村茉希	湯本信也	井上大暉	湯本信也・下村茉希
	午後	—	湯本信也 (在宅酸素療法外来のみ)	—	—	—
脳神経外科	終日	甲斐 豊	甲斐 豊	—	甲斐 豊	甲斐 豊
循環器内科	午前	木村優一	木村優一	宮本信三	田畑 範明 (熊本病院循環器内科)	宮本信三
	午後	木村優一※1 (睡眠時無呼吸症候群外来のみ)	—	—	—	—
小児科	終日	橋山元浩※2	檜村哲生	橋山元浩※2	橋山元浩※2 (第2・3水曜除く)	橋山元浩※2
小児科 専門外来	終日	—	—	上土井貴子※3 (第2・4水曜)	永田裕子(第3水曜) 岩井正憲(偶数月第2水曜) 鎌田直美(奇数月第2水曜)	—
脳神経内科	終日	—	—	松原崇一朗(第1・3・5水曜) 野村隼也(第2・4水曜)	—	—
整形外科	午前	坂本圭	坂本圭	坂本圭	湯上正樹	—
	午後	—	—	—	湯上正樹	—
リハビリテーション科	午前	坂本圭	坂本圭	坂本圭	湯上正樹	甲斐 豊
	午後	—	—	—	湯上正樹	—
消化器外科	午前	—	古閑悠輝 近本 亮(第2水曜前日)	近本 亮(第2水曜除く)	古閑悠輝	—
リウマチ膠原病内科	終日	—	—	中村正(第3水曜)	—	—
乳腺内分泌外科	終日	岩瀬弘敬(第3月曜)	—	—	—	—
糖尿病・代謝・ 内分泌内科	終日	—	—	—	八木喜崇	井形元維
血液内科	午後	鈴島仁(第2月曜)	—	—	—	—
腫瘍内科	午前	—	—	—	境健爾(第3水曜)	—
消化器内科	午前	—	—	—	—	檜原哲史(肝疾患)
	午後	具嶋亮介	—	向坂健祐	—	檜原哲史(肝疾患)
耳鼻咽喉科	午前	—	—	—	熊本担当医	—
腎臓内科	午後	—	—	—	—	西口佳彦(第1金曜) 深水大天(第3金曜) 14:00~15:00
歯科口腔外科	終日	—	高宗康隆	—	—	高宗康隆
総合診療 (新患・健診)	午前	下村茉希	光吉こころ	井上大暉	松本久	松本久
	午後	—	—	—	松本久	—

診療科		月	火	水	木	金	土
人工透析	午前	湯本信也	湯本信也	湯本信也	湯本信也	湯本信也(第2・4・5金曜) 西口佳彦(第1金曜) 深水大天(第3金曜)	湯本信也(第2・4・5土曜) 小野真(第1土曜) 丸山功祐(第3土曜)

外来受付

午前 8:30 ~ 11:30(診療時間 9:00 ~) 午後 ご希望の診療科と外来診療体制をご確認ください。(診療時間 14:00 ~)

※1 は受付時間 13:00 ~ 15:30(診療時間 14:00 ~ 16:00)

※2 は受付時間 13:00 ~ 18:00(診療時間 14:00 ~ 18:15)

※3 は原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生までの受入れ。

【波野診療所 (☎ 24-2203)】

診療科		月	火	水	木	金
内科・外科		高野病院	—	下村茉希(15:00 まで)	—	井上大暉(15:00 まで)
整形外科		—	—	—	熊本整形外科病院(午前中のみ)	—
歯科		高宗康隆	—	—	高宗康隆	—

本年度のスタッフをご紹介します

病院事業管理者 甲斐 豊 (院長兼任) 副院長 湯本信也

令和2年4月1日現在

部名	科名等	スタッフ		
診療部 (医局)	脳神経外科	事業管理者兼院長 甲斐 豊		
	内科	副院長兼部長 湯本信也	医師 下村茉希 ^新 医師 井上大暉 ^新	
	循環器内科	部長 宮本信三 医長 木村優一	後期研修医 光吉こころ	
	小児科	医局長兼部長 橋山元浩		
	整形外科	医師 坂本 圭 ^新		
	消化器外科	医師 古閑悠輝		
	歯科口腔外科	歯科医師医長 高宗康隆		
医療技術部	部長 穴井伸明			
	放射線室	室長 部長兼務 主任 岩本貴史 主任 橋爪真理	診療放射線技師 山村未紗 診療放射線技師 岩尾拓磨 診療放射線技師 有内良太郎	
	検査室	副部長兼室長 高村和弘 主任 嶋本佳織 主任 松川 誠	臨床検査技師 高橋薫子 臨床検査技師 木村彩香 臨床検査技師 吉村ヨウ子 [㊟]	
	リハビリテーション室	室長 若宮賢司 主任 松岡久美 主任 池田隆 主任 石松正樹	作業療法士 赤田敏嗣 作業療法士 菅邦彦 言語聴覚士 溝口奈桜 理学療法士 升水亮一 理学療法士 小山謙志 理学療法士 安陵暢浩 リハビリ助手 谷岡直美 [㊟]	
	臨床工学室	室長 藤本 博	臨床工学士 溪村大地 臨床工学士 荻野大志 臨床工学士 伊東丈輝 ^新	
	栄養管理室	主任 小野 恵	管理栄養士 村上純子 管理栄養士 高橋由香理 [㊟]	
薬剤部	薬局	副部長 中村初美 副部長 櫻間啓基 ^新	薬剤師 佐藤みづき 薬剤師 西千春 薬剤師 井口有紀 薬剤師 遠山潤 非常勤薬剤師 近藤元三 事務補助 井早苗 [㊟]	
看護部	部長 山部かおる			
	2階病棟	師長 相原希 主任 城井千秋 主任 池田照美	佐藤明日香 種子野ふみ 奥田未佳 藤井明日香 岩下誠 山下太佐 渡邊紫真 後藤佳代 岩下寿子 津留真由美 長町美華 怒留湯翔太 ^新 渡邊紘平 中山彩香 菅絵里 新里彩也香 [㊟] 佐藤瑞穂 山口沙織 花園美咲 看護補助 井野安華里 [㊟]	
	救急外来		主任 北 雅美 主任 佐渡由紀美	高橋哲 大塚梓 工藤景子 山内由美
	3階病棟	師長 園田弘美 主任 家入亜樹 主任 岩本美季	伊藤真由美 杉本智子 岩尾美幸 村瀬陽子 本田有美 政田亜子 今村明美 高宮めぐみ 野口昌子 津留尚徳 奥田 輝 工藤 愛 ^新 田中まゆみ 荒木かおり 馬場美和 [㊟]	
	4階病棟	師長 後藤美穂 主任 岩下ユキ 主任 藤谷恵美	後藤美由紀 甲斐千穂 福本菜那美 小手川圭 鈴木詩織 小山幸代 [㊟] 村山直子 橋本知佳 右田けい子 [㊟] 西田美希 藤田由紀 高橋美貴 [㊟] 村上涼太 原住めぐみ	
	手術室・中央材料室	(後藤師長兼務)	工藤奈巳 塚本由美子 [㊟] 工藤くみ子	
	外来	師長 石田洋昭 主任 志賀真紀	松本夕紀 日田真理子(内視鏡) 麻生真理 [㊟] 渡邊咲 石田きよみ [㊟] 高津博美 [㊟] 岩本あずさ 中村智恵美 [㊟] 玉田明美 [㊟] 湯浅由美子 [㊟] 古庄美穂 看護補助 藤山一恵 [㊟]	
	透析室	主任 村岡奈緒	古澤瑠里 楠 加津子 [㊟]	
	外来化学療法室	師長 佐藤美和	木下由唯	
	健診室	(石田師長兼務)	勝木美希 高木ナツ子 [㊟]	
医療安全管理部	部長 湯本信也(兼任)			
医療安全管理室	ビジュアルスマネジメント 櫻間博文 [㊟]			
感染防止対策室	師長 柿本純子			
地域医療連携部	部長 宮本信三(兼任)			
医療連携室	主任 洞田貫ユイ子	井上裕貴 猪島幸浩 ^新 山崎ひとみ [㊟] 佐久間成子 [㊟]		
入退院支援室		嶋田薫子 [㊟]		
在宅医療サポートセンター準備室	在宅医療相談員 山角敬子 [㊟]			
事務部	部長 井野孝文		赤塚善一 [㊟]	
	総務課	課長 井野 洋	総務管財係 係長 課長兼務 城貴巳彦 村川直也 山内玲雄 渡邊金市郎 ^新 経営企画係 係長 佐渡 竜 徳永奈緒美 [㊟]	
		医事課	課長 藤本淳一	医事係 係長 本田義信 浦嶋風香 中林秀美 上野美由紀 [㊟] 本田真理 [㊟] 牧千尋 [㊟] (地域医療連携室) 井上裕貴(兼任) 猪島幸浩(兼任)
	医療情報係 係長 家入利也 参事 佐藤 修			
波野診療所	歯科・内科・整形外科 所長 内科医師 下村茉希(兼任) 歯科医師 高宗康隆(兼任)	内科医師 井上大暉(兼任) 非常勤医師(内科) 高野病院ローテ医 非常勤医師(整形外科) 熊本整形ローテ医		
		事務室	参事 市原安子 参事 加藤千鶴 主任技師 沖本義英 歯科衛生士 加藤真弓 [㊟] 歯科衛生士 阿蘇品絵美 [㊟] 進直美 [㊟]	
病院付	産休・休業・退職等	小山英梨加 田中紋 岩瀬白糸 桐原稚葉 藤川敦子 緑菜奈		

^新=新規採用 [㊟]=会計年度任用職員 [㊟]=再任用 [㊟]=特定任期付



新着案内

new arrivals

『笑って生ききる』

泣きたいときは辛抱しない。現世なんてサンドイッチのハムより薄い…。健康・夫婦・子育て・老い・人づきあい。



瀬戸内寂聴／著
(中央公論新社)

『罪人の選択』

「罪人」の前に出されたのは、一升瓶と缶詰。一方には猛毒が入っている。果たして正解は…。全4篇を収めた短編集。



貴志祐介／著
(文藝春秋)

『人間のれきし』

何百万年も昔に起きた巨大な衝突からはじまった人間のおどろくべき物語。最初の人類の登場、動物を狩り、草や木の実を食べていた人間の暮らしを紹介する。



キャサリン・パー／著
(絵本塾出版)

『クスノキの番人』

盗みに入り逮捕された直井玲斗は、弁護士費用を支払ってくれた伯母から、クスノキの番人をするように命じられる。そのクスノキに祈れば、願いが叶うと言われていて…。



東野圭吾／著
(実業之日本社)

お知らせ

library information

あなたの暮らしに役立つ一冊をご紹介します。
マスクを作って、感染予防に役立てましょう！



自分だけのオリジナルマスクをつくってみませんか？かわいい布地やワンポイント刺しゅう、アップリケをプラスしたマスクの作り方を、写真で詳しく解説します。

移動図書館

bookmobile

●阿蘇・一の宮地区

(5月1日☎・6月5日☎)

西役犬原公民館	10:00～10:10
▼	
竹原公民館	10:15～10:25
▼	
坊中公民館前	10:35～10:45
▼	
赤水駅前	11:10～11:15
▼	
宮本酒店前(車帰)	11:25～11:35
▼	
坂梨公民館	15:15～15:25

●波野地区

(5月13日☎・6月10日☎)

波野保健福祉センター 11:00～11:15

※天候や道路状況により巡回を中止することもあります。

かんぽの宿 阿蘇 からのお知らせ

【日帰り利用の休止について】

新型コロナウイルス感染症防止対策として、**5月10日(日)**までの間、日帰りでのご利用を休止しております。

お客さまには、大変ご迷惑、ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※状況によりご利用休止を延期する場合がございます。

【日帰り入浴スタンプカード等について】

日帰り入浴スタンプカード及び入浴招待券の有効期限は、ご利用再開後、延長いたします。

【館内外の工事予定について】

外壁塗装等の工事により、客室等からの眺望への影響や入浴時間に変更がある場合がございます。詳細は当宿へお問い合わせください。

かんぽの宿 阿蘇

熊本県阿蘇市一の宮町宮地5936

2020年4月 日本郵政株式会社かんぽの宿阿蘇調製 TEL 0967-22-1122

広告

人権作文

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

私の幸せ

内牧小学校六年 増田遥華

「こんにちは。」

その二言が、私にとつての楽しみだ。ちよつと離れたところに住んでいるいとこがやってきた。第一声は、

「おやつ食べたい。」

さつそく始まった。二才のいとこのみなみのわがままが。

「もうすぐごはんだよ。お母さんに聞きなせ。いいって言ったらあげるから。」

と、私が言うといとこは、お母さんに聞きに行つた。

「あの、あの、おやつ食べていい。まだうまくしゃべれていないのがかわいい。」

「トイレに行つてからね。」

いとこのお母さんがそう言うといとこは不機げんに。

「あらんや。」

「一回行つてみよ。おやつ無いよ。おやつに反応したのか。いとこはトイレにかけて行つた。私はその

すきに、まだはいはいもできない。〇才のいとこに近づくと、

「きち。こんにちは。」

声に反応して私の目を見た。すると、

「おっ。」

と声を出した。私が笑うと、〇才のいとこも笑った。いとこにはずっと笑ってほしい。そう思っていたそのとき、

「出たよ。」

と満面の笑顔で二才のいとこが私に近づいてくる。

「じゃあ、おやつ食べよっか。」

私はそう言い、たなにあるクッキーを取り出し、皿に分け、

「はい。どうぞ。」

と、いとこに渡した。いとこはパクパク食べた。そんないとこをながめていると、帰ってきたおばあちゃんが私に言った。

「今日のご飯何がいい。」

「分からない。」

と、私が言うとおばあちゃんは、

「何にしようかね。」

とつぶやいた。すると、いとこのお母さんが、

「シチューはどうですか。」

と提案。お母さんと、いとこのお母さんとおばあちゃんて料理のしたくをし始めた。

すると、タブレットの通知音が鳴る。前の学校の友達からのメールだ。

「今日どうだった。ああ、〇〇に会いたい。」

と、来ていた。私は、

「いつも通り。またいつか会えるって。」

と返信した。いつもこんな感じで、交換日記みたいにその日の出来事をやりとりしたり、相手のぐちをなだめたりしている。ふと、いとこの皿を見た。もう完食手前だ。すごいスピードだと思つたとたんに、

「食べたよ。」

と言つた。

その時、ガラガラと玄関のどびらが開く音がした。おじいちゃんが帰ってきたのだ。私は玄関に行つて、

そうおじいちゃんに言うとき、自分の部屋に入りドアを閉めた。

宿題をしていると、いとこのお母さんが、

「宿題が終わつたら、みなみといっしょにおふろ入ろうか。」

と言いながら、私の部屋に入ってきた。私は、

「いいよ。じゃあ早めに終わらすね。」

そう言つた。私はまた自分の部屋のドアを開けた。すると、タブレットの通知音といとこの泣き声が響いた。(宿題ができないじやないか)と思いながらも部屋のドアを開けて、いとこのももにかけつけた。泣き声は、〇才のいとこ。

「多分ミルクかなあ。」

と、困るいとこのお母さん。私は、

「きち。」

と名前を呼んでだつた。泣き止んだが、おばあちゃんから、

「宿題をしまさい。いいから。」

とおこられてしまった。私は、

「はい。」

と、めんどくさそうに声を上げ、自分の部屋に入り、ドアを閉めたのだった。宿題を早く終わらせて、二

才のみなみとおふろに入らなくてはいけない。おふろから上がったら、自分といとこ二人のかみをドライヤーでかわかさなくてはいけない。それから、ごはんの準備を手

伝い、いとこに食べさせ、いとこの要望にこたえなくてはならない。

私は、またえんぴつを動かし始めた。(いそがしいなあ。でも、この時

間が幸せだ)そう思いながら。

先生からのコメント

綴りから、家庭の賑やかな様子が思ひ浮かびます。家族の関わり合いや会話を大切にし、お互いがお互いを必要とし合う関係に心が温まります。遥華さんは五月に内牧小学校に転入してきました。五年間慣れ親しんできた土地と友達と別れ、不安を抱えて来たことでしょうか。そんな中、新たな友達と関係を築き、学校生活の様々な場面で新たなことにチャレンジし、精いっぱいがんばっています。遥華さんの学校でのがんばりは、この綴りのような何気ない家族との関わりに支えられているのでしょうか。家族のペースに合わせて自分の仕事や役割をこなすことは大変なことのように思えますが、そんな時間に幸せを感じる遥華さんの感性がとても素敵です。きつとご家庭にも、子どもが家の外でがんばれる力を充電するような時間があり、そして、どの子にも、何気ないことに幸せを感じる感性があることでしょうか。綴りを通して何気ない幸せに気付いたり、綴りを交流することでお互いの思いや感性に気付いたりすることで、子どもたちのくらしはもっと豊かなものになっていくことと思います。遥華さんのこの綴りから、綴りのもつ価値に改めて気づかされました。